

令和6年度 第2回 運営会議ニュース

日 時	令和6年7月14日（日）13：30～15：10
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター（レクチャールーム）
出 席 者	10名

～議題～

各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

・5月19日：参加者13名 「花の枝」についてルーペを持って昆虫になったつもりで観察を行った。エゴノキの花、ハコネウツギ、キツリフネソウなどの観察を行った。柿の木には雌雄花と雌花だけの種があり、雌花だけでも結実することや、ハマナスは8種あるバラの原種であることやバラのびっくり花言葉を説明した。その他ニワゼキショウ、ドクダミ、テイカカズラ等観察を行った。

・6月16日：参加者12名。まずは座間市の花「ヒマワリ」について、日に向かって首を振ることから名付けられたが、蕾の中に黄色い花弁が見え出す頃には東を向いて固定するという。また神奈川県の花「ヤマユリ」は蕾が膨らんでいた。ネジバナやハナショウブ「座間の森」も多く咲いていた。その他にドクダミ、ヤブカラシ、イワガラミ、ナツメ、アジサイ等の観察を行った。

●ふるさとフォーラム座間

- ・今年も「座間の森」がたくさん咲いた。毎年絵を描きに来る方や楽しみにしている方がいる。
- ・7月18日に菖蒲田の除草を行う。
- ・田んぼ、畑の公園イベント指導や協力をしてくださる方を引き続き探している。

●座間のホタルを守る会

- ・5/30から調査を行った。今年は飛び出しが早かったのもう少し早めの方が良かった。
- ・湧き水の谷と田んぼ・湿生生態園の南水路で多く飛んだ（北水路は少なかった）。
- ・ホタルガイドを2回（公園主催6/12と市公民館主催6/14）行った。

●谷戸山ボランティア

・6月～7月のトンボ類・植物観察を行った。ヤマサナエ、コオニヤンマを確認し、ヤブヤンマの産卵をログハウスで見た。オオアオイトトンボも飛んでいる。

わき水の谷でノハナショウブ、スイレン、チダケサシ、クサレダマの開花を確認した。

・里山保全隊による昆虫の森内でのトキワツユクサの除草の際、保護杭が立っているサラシナショウマを刈ってしまい残念。

その他

●厚木土木東部センター欠席につき園長より説明

- ①ナラ枯れ木伐採：内容検討中
- ②ナラ枯れ対策業務：R5、6年度実施業務は終了。R6年度発注分については内容を検討中。
- ③棧橋園路、手すり改修：入札手続き中。
- ④東口広場付近の園路舗装更新：年内に実施予定。
- ⑤体験館、ログハウスの監視カメラの設置：検討中。

●公園

・メリケントキンソウについて 果実にトゲがあり、芝生に手をついたり裸足で歩くとトゲが刺さる恐れがあり、近年他公園や校庭等で繁茂し農薬が使用出来ずに駆除が困難になっている。

ネットで情報を収集し、尿素液の濃度を変え散布の実験を行った結果、速攻性の効果があった。

尿素は肥料にも使用され無害。クローバーや芝生も一度枯れたが数日後には生育が良くなった。メリケントキンソウは肥料やけ（肥料過多）を起こし、生えてこなかった。秋から春に防除予定。

・トキワツユクサについて 重点対策外来種に指定され、園内ではここ数年林床地に爆発的に繁茂し、群落を作っている。在来種のニリンソウ、タチスボスミシ、ドクダミ、ツユクサ、ホタルブクロ等

の群落がなくなる可能性もあり、直営、ボランティア、委託で随時駆除を行っている。しかしながら、わずかな茎からでも根を生やすため、引き続き駆除を行っていく。

- ・危険木の伐木・枝降ろしについて 6月10日～14日に業者による伐採・枝降ろし作業を実施。
- ・みちくさ広場サクラの倒木・伐採について 6月10日に主幹の根本から分岐した1本の幹が倒伏した。幹の根元には腐朽が見られた他、残った主幹は東側に傾斜している上、枝葉も傾斜した東側に多く残っており、重心が大きく偏った状況にあり、樹木医、造園会社の立ち合い上、今後倒木の危険性を踏まえ残念ながら伐採を行った。
- ・子どもの遊び場の提供について 「子育てまちづくりネットワーク」（座間市民活動サポート登録団体）により、会による小学生までの子ども（原則保護者同伴）が自然の中で子どもと保護者が一緒になって伸び伸びと遊び、自然と触れ合い、自然の大切さを五感で感じることを目的に使用の要望があり、自然観察公園（アーバンエコロジーパーク）としてのルールを定めた。その上でみちくさ広場にて「森の遊び場」を提供することの説明と、そのプレ開催7月11日の様子を報告して、意見を伺った。

（運営委員の意見）

- ・「みちくさ広場」の始まりでは普通の植物（雑草等）が見られる広場として整備されたので、その主旨を理解してもらいたい。
- ・みちくさ広場全体ではなく、実際はその一部の利用ではないか？
- ・規模が大きくなると心配なので、少人数で利用してもらいたい。
- ・保育園が遊びに来るとは、目的が違うので自然への影響が心配である。
- ・保育園の子どもたちのように、野鳥の原っぱや多目的広場等の他の場所で遊べないのか？
- ・土いじりで土を掘り起こしたりしており（埋め戻しはさせているか）遊ぶ場所が裸地化する。
- ・高学年の小学生が来ると遊びがエスカレートし自然が荒れる。
- ・大量の水を流すと土砂が流出する。
- ・（議長）予定されている8月まで開催してもらい経過を観察したい。次回の運営会議（9月）に経過を報告してもらいたい。

（公園）

- ・ルールを守りながら幼少時に自然に触れ、また植物の大切さを理解して大人になってほしい。公園の責任で見守って行くので、よろしく願いいたします。

次回開催日時	9月8日（日）13：30～15：00
--------	--------------------

※進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所まで。